教科名	中学校　社会科（公民分野）	学　年	３学年
単元名	第２章　個人の尊重と日本国憲法	生徒数	31 名
		授業者	鈴木日向子

１「深い学び」に向かう子どもの姿

①　知識を相互に関連付けてより深く理解しようとする姿

②　情報を精査して考えを形成しようとする姿

２　単元の目標と観点別評価規準

・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。
・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。
・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。
・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。
・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。
・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。	・人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

３　単元で働かせる見方・考え方

第２章の学習内容を、対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。

４　パフォーマンス課題（スライド・発表）

「基本的人権スライド」を作ろう
チーム：「平等権」「自由権」「社会権」「環境権・自己決定権」「知る権利・プライバシーの権利」
１チーム４～５名に分かれる。スライドは相談して表紙以外に１人１枚以上は作成する。

５　ルーブリック

A+	対立と合意、効率と公正、公人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされていたり、社会の変化に伴って新しい人権が認められたりしてきた理由について、多面的・多角的に考察している。また、私たちが社会とどのように関わっているか、関わるべきか具体的に考えている。
A	対立と合意、効率と公正、公人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされていたり、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきたりした理由について、多面的・多角的に考察している。また、私たちが社会とどのように関わっているか、考えている。
B	対立と合意、効率と公正、公人の尊重と法の支配などに着目して、日本国憲法において、人権保障が大切にされていたり、社会の変化に伴って新しい人権が認められてきたりした理由について、多面的・多角的に考察している。
C	Ｂの基準を満たしていない。

６　ＩＣＴの活用の場面と工夫

パワーポイントのスライド作成を通して疑問に思ったことや更に調べたくなったことについて、ＩＣＴを活用して調べる場面を設定する。また、チームでスライドを作成し、他のチームと交流することで、新たな知識を習得することができるようにする。

７　単元の指導と評価の計画（全 13 時間）		
時間	学習課題（◆）　主な学習活動（〇）	評価の観点【 】評価規準
1 ～ 5	◆人権と憲法にはどのような関係があるのか。 〇　人権の考え方の歴史を学習しながら、様々な人権について考察する。 ◆日本国憲法はどのような考え方を基づいてつくられているのか。 〇　大日本帝国憲法との比較をもとに、立憲主義とはどのような考え方かを学習する。 ◆なぜ国民主権は大切なのか。 〇　国民主権とはどのような考え方で、その考え方はどのような制度に反映されているかを考察する。 ◆平和主義を掲げる日本は国際社会でどのような役割を果たしていくべきか。 〇　平和主義とはどのような考え方で、日本が抱える安全保障の考え方について理解し考察する。 ◆なぜ基本的人権を保障することが重要なのか。 〇　法の下の平等と個人の尊重という考え方について理解し、人権を保障する大切な考え方であることを理解する。	【知・技】 ・人権思想と憲法の歴史の学習を踏まえ、人権と憲法の関係から法の支配について理解している。（ワークシート） ・日本国憲法の三つの基本原理や国民主権、日本が平和主義を掲げる理由、個人の尊重について、本文の読み取りを通して理解している。（ワークシート） 【思・判・表】 ・日本国憲法が大切にされてきた理由について、多面的・多角的に考察している。 （ワークシート） 【態度】 ・国民主権が重要な理由を、法の支配を考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。（観察）
6 ～ 9	★パフォーマンス課題・ルーブリックの提示 ◆基本的人権にはどのようなものがあるか（１） 〇　班に分かれてスライド作りをする。 （考察・レイアウト→役割分担決め→スライド作り） ①平等権　②自由権　③社会権　④環境権・自己決定権 ⑤知る権利・プライバシーの権利 ★パフォーマンス課題（ワークシート・口頭説明） ★ルーブリックの活用 ★ＩＣＴの活用	【知・技】 ・基本的人権の種類とその権利が主張された経緯や背景、その権利を保障する法律などを理解している。（ワークシート） 【思・判・表】 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 （ワークシート・口頭説明） 【態度】 ・人権保障が大切にされている理由や社会の変化に伴って新しい人権が認められてきたりした理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。（ワークシート・観察）
10 ～ 13	◆基本的人権にはどのようなものがあるか（２） 〇　班に分かれてスライド発表する。 〇　人権についてのプリントに取り組み、理解を深める。	【知・技】 ・他の人が作成したスライドやその発表を見て、基本的人権について理解している。 （ワークシート、プリント） 【態度】 ・人権保障が大切にされている理由や社会の変化に伴って新しい人権が認められてきたりした理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。（スライド、観察）